

全プログラムのアーカイブ動画をご視聴いただけます！



🔍 jimukinoueda

キーノートスピーチ



山極壽一氏

セッション1

人と地球と社会

一つ目のセッションは今の状況のこともあり、アバターというロボットを使い外部から目的の場所へアクセスするお話や、zoomによる視点や記憶の共有や、記憶の方法のお話も出ていました。他には、マイノリティとマジョリティのお話があり、生身の人間が100人いる中でアバターロボットが1体だけいた場合、声が聞こえにくい、接続が悪いなど、アバターロボットがマイノリティとなりますが、アバターロボット100体の中に生身の人間1人だけになると、逆に生身の人間の肩身が狭くってしまう可能性があるという話もありました。

ファシリテーター



西村勇哉氏



深堀昂氏



塩瀬隆之氏



木多道宏氏

二つ目のセッションでは、お金というのはやりたい事をやる為のツールであり目的では無いという話が鍵となりました。

セッションの中で「なぜ人はお金を稼ぐことに欲望を持ってしまったのか？」「持ってしまったが為にお金の循環が悪くなっているのではないか？」という問いがありました。

確かにお金を稼ぐ欲望や、稼いだことへの達成感がありますが、これはお金の循環を悪くしてしまっているそうです。そうならない為に、

セッション2

金融

「意志あるお金」を増やす事が大切というお話でした。

ファシリテーター



新井和宏氏



加藤徹生氏



新田信行氏



米良はるか氏



江上広行氏

最後のセッションは珊瑚とプランクトンの相利共生関係から、人間同士のコミュニティの共生・共存についてのお話がありました。

共生する中でも規範となる部分がガチガチになってしまうと幸福度は低くなり自殺率が上がってしまうそうです。規範もある程度緩くすることで、お互いが生きやすく幸福度に繋がるそうです。

社会で生きていくと言う事は、他者と比べられることでもありますが共に生きていく事でもあり、

セッション3

人と命と社会

ファシリテーター 西村勇哉氏

お互いの求めている物を理解し足りない部分を補っていくことが本当の共存なのかもしれません。



渡邊剛氏



松山大耕氏



占部まり氏



内田由紀子氏



1日だけの経営大学院



篠谷浩介氏

プログラム1

里山資本

共同主観と個人主観という言葉もありましたが、今の世の中は、多数の方が正しいという世の中になっており、多数派が判断する正しい・間違いに沿って常識がつけられています。誰でも情報発信ができる世の中なので、周りに流されずに自分でどの意見が正しいかを判断する力が必要となります。

「人間はお金にこだわりすぎている?」「本当の物の価値とは?」という問いから始まりました。お金を持っている事が幸せなことでは無く、人は人と繋がることで幸せになるというお話でした。
不安を解消する為にお金を貯めているようにも思うのですが、貯めれば貯めるほど、解消されるのではなく不安が大きくなるという悪循環をなくすため、貯められないお金をデザインするというお話も、興味深かったです。他にもファンを作り、共感に対してお金を使ってもらおうというお話がありました。

プログラム2

共感資本



新井和宏氏

「知識とは、何を持って知識というのか?」科学技術や知識は、意思を持たない為使うための身体が必要です。もちろん AI などは情報処理が長けており、使うことはいいことではあるが、人間だからこそできる対話などではできないという面もあるので、両方の軸で物事を考えていくのが大切というお話でした。
過去と未来を繋ぐ歴史的構想力とは、過去と現在と未来は同じ軸であり、過去を見つづ現在も見るといふことであり、その軸を1つではなく複数持ち、もっと思考を柔軟にし、固定概念や前提条件を省き物事を客観的に理解していきたいです。



紺野登氏

プログラム3

知識資本

強い・優れた人間が、弱い立場の人々に財やサービスを分配するのが今までの経済学の思想と流れでしたが今後は逆転の考え方にしていけるべきであり、社会の真ん中に社会的弱者と言われる方々を置き、強い人や優れた人が弱者と向き合うことで自身の中にある『弱さ』と向き合い、共感し、認めることで「弱者」「強者」「優れた人」の区別をなくすという考え方でした。
それによって差別や区別などもなくなり、妬みや恨みも消えるのではないのでしょうか? また、新たな問題は出て来るかもしれません。

プログラム4

道徳感情論



堂目卓生氏

SOCIAL DISTANCE



桜井肖典氏

対談

「個であるためには個ではならない」という哲学的なお話が飛びでた対談でした。
どうしても資本というと人材や知識、財産などをイメージしてしまうのですが、関係性を資本として扱うという素晴らしい考え方もありました。
物事を分かりやすく分析し続けても多様性はうまれにくい。常に生成ベースで新しいものを生み出していく必要があるというお話も新鮮でした。



岡村充泰氏



大室悦賀氏